

東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

訂正箇所 正誤区分 訂正区分

割掛対象
参考内訳書
P2
【準備工事費】
仮設ヤード
整備費

誤

		重量 42.8t ー 1台 ー 1往復 20 t 門型クレーン（立坑搬入用） 重量 60.6t ー 1台 ー 1往復 運搬距離約 25 k m（片道） 軌条設備 重量 36.8t ー 1式 ー 1往復 運搬距離約 25 k m（片道）	
仮設材等運搬費②	土留工の仮設材（鋼矢板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 1,460 t	ー
仮設材等運搬費③	覆工板工の仮設材（覆工板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 175 t	ー
仮設材等運搬費④	埋設防護工の仮設材（覆工板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 10 t	ー
電力基本料金費	電力等の基本料金に要する費用をいう。	電力使用期間ー約 29.5 ヶ月 契約電力量ー1,045kWh（最大使用時）以下	ー
地質調査等費（平板載荷試験）	構造物の床付け面の平板載荷試験に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑部両渠 ー1箇所 ・Bランプ函体 ー1箇所	ー
アンカー工の多サイクル確認試験費	グラウンドアンカー工の多サイクル確認試験に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑グラウンドアンカー施工箇所 ー 4本	ー
非破壊検査試験費①	発進立坑躯体、函体躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑躯体 ー 36箇所 ・Bランプ函体 ー 6箇所 ・発進坑口仕上げ部 ー 3箇所	ー
非破壊検査試験費②	シールド覆工部、ポンプ室躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・Bランプシールド現場打ち覆工 ー 5箇所 ・ポンプ室躯体 ー 2箇所	ー
非破壊検査試験費③	独立避難通路躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・独立避難通路躯体 ー 94箇所	ー

【準備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路費	発進及び到達側施工ヤード進入路の簡易舗装工及び簡易舗装工の取壊し・積み込み・運搬、処分費に要する費用をいう。	簡易舗装工 再生砕石路盤工（t=20 cm） ・発進側ー1,425 m ² ・到達側ー1,503 m ² 簡易舗装工 再生アスファルト表層工（t=5 cm） ・発進側ー1,425 m ² ・到達側ー1,503 m ²	○
工事車両泥落し費	泥落し装置及び人力による泥落しに要する費用をいう。	泥落し装置（乾式・全輪型） ・国道 298 号の工事車両出入口部（発進側） 1台 ー 約 11.0 ヶ月 泥落し要員（軽作業員+高圧洗浄機） ・市道6102号の工事車両出入口部（到達側） 1人 ー 約 0.5 ヶ月	ー
坑内外仮設備保守費	シールド工に係る坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	坑内 ・電工 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 坑外 ・特殊作業員 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 ・電工 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 ・普通作業員 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月	ー
仮設ヤード整備費	セグメント仮置き場・土砂ピット 泥土積込み場における簡易	捨土掘削（土砂）ー2,014 m ³ （成田川上仮置き場までの運搬）	○

- 2 -

正

		重量 42.8t ー 1台 ー 1往復 20 t 門型クレーン（立坑搬入用） 重量 60.6t ー 1台 ー 1往復 運搬距離約 25 k m（片道） 軌条設備 重量 36.8t ー 1式 ー 1往復 運搬距離約 25 k m（片道）	
仮設材等運搬費②	土留工の仮設材（鋼矢板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 1,460 t	ー
仮設材等運搬費③	覆工板工の仮設材（覆工板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 175 t	ー
仮設材等運搬費④	埋設防護工の仮設材（覆工板、H形鋼等）の運搬に要する費用をいう。	運搬距離約 25 k m（片道）ー 約 10 t	ー
電力基本料金費	電力等の基本料金に要する費用をいう。	電力使用期間ー約 29.5 ヶ月 契約電力量ー1,045kWh（最大使用時）以下	ー
地質調査等費（平板載荷試験）	構造物の床付け面の平板載荷試験に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑部両渠 ー1箇所 ・Bランプ函体 ー1箇所	ー
アンカー工の多サイクル確認試験費	グラウンドアンカー工の多サイクル確認試験に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑グラウンドアンカー施工箇所 ー 4本	ー
非破壊検査試験費①	発進立坑躯体、函体躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・発進立坑躯体 ー 36箇所 ・Bランプ函体 ー 6箇所 ・発進坑口仕上げ部 ー 3箇所	ー
非破壊検査試験費②	シールド覆工部、ポンプ室躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・Bランプシールド現場打ち覆工 ー 5箇所 ・ポンプ室躯体 ー 2箇所	ー
非破壊検査試験費③	独立避難通路躯体の非破壊試験による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	試験箇所 ・独立避難通路躯体 ー 94箇所	ー

【準備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用道路費	発進及び到達側施工ヤード進入路の簡易舗装工及び簡易舗装工の取壊し・積み込み・運搬、処分費に要する費用をいう。	簡易舗装工 再生砕石路盤工（t=20 cm） ・発進側ー1,425 m ² ・到達側ー1,503 m ² 簡易舗装工 再生アスファルト表層工（t=5 cm） ・発進側ー1,425 m ² ・到達側ー1,503 m ²	○
工事車両泥落し費	泥落し装置及び人力による泥落しに要する費用をいう。	泥落し装置（乾式・全輪型） ・国道 298 号の工事車両出入口部（発進側） 1台 ー 約 11.0 ヶ月 泥落し要員（軽作業員+高圧洗浄機） ・市道6102号の工事車両出入口部（到達側） 1人 ー 約 0.5 ヶ月	ー
坑内外仮設備保守費	シールド工に係る坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	坑内 ・電工 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 坑外 ・特殊作業員 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 ・電工 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月 ・普通作業員 1人×2方 ー 約 7.5 ヶ月	ー
仮設ヤード整備費	セグメント仮置き場・土砂ピット 泥土積込み場における簡易	捨土掘削（土砂）ー541 m ³ （成田川上仮置き場までの運搬）	○

- 2 -

訂正箇所		訂正区分																																		
割掛対象 参考内訳書 P5 【仮設備工事費】 工事用電力費	誤	<table><tr><td></td><td></td><td>・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月</td><td></td></tr><tr><td>工事用電力費</td><td>シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。</td><td>高圧電力B 総電力使用量 -5,721,466ksh</td><td>－</td></tr><tr><td>十砂搬送設備費</td><td>シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。</td><td>参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥十圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp</td><td>○</td></tr><tr><td>土砂貯留設備費</td><td>シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。</td><td>参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片</td><td>○</td></tr></table>			・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月		工事用電力費	シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。	高圧電力B 総電力使用量 -5,721,466ksh	－	十砂搬送設備費	シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥十圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp	○	土砂貯留設備費	シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片	○	正	<table><tr><td></td><td></td><td>・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月</td><td></td></tr><tr><td>工事用電力費</td><td>シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。</td><td>高圧電力B 総電力使用量 -3,562,954kwh</td><td>－</td></tr><tr><td>十砂搬送設備費</td><td>シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。</td><td>参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥土圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp</td><td>○</td></tr><tr><td>土砂貯留設備費</td><td>シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。</td><td>参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片</td><td>○</td></tr></table>			・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月		工事用電力費	シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。	高圧電力B 総電力使用量 -3,562,954kwh	－	十砂搬送設備費	シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥土圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp	○	土砂貯留設備費	シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片	○
			・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月																																	
工事用電力費	シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。	高圧電力B 総電力使用量 -5,721,466ksh	－																																	
十砂搬送設備費	シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥十圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp	○																																	
土砂貯留設備費	シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片	○																																	
		・C B屋外式（50～100kVA）－1台 設置期間－約 6.5 ヶ月																																		
工事用電力費	シールドトンネル坑内・外の動力及び照明用の使用電気料をいう。	高圧電力B 総電力使用量 -3,562,954kwh	－																																	
十砂搬送設備費	シールド掘削十砂を坑外十砂ビットまで搬送する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・十砂圧送設備（その1～4） 十砂圧送設備－1式 【初期掘進～本掘進】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・一次圧送設備 スラッジポンプ スクリューコンベア接続用－2台 ①MSP1020 最大輸送量 150m3/h 電動機 30 k W×2 台＝60kW (400V) ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・二次圧送設備 二次泥土圧送ポンプ－2台 ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・管伸縮装置（全損） スネーク式伸縮管 10B 伸縮管引寄せウィンチ 2.2kW 【本掘進追加設備】 設置期間－約 6.5 ヶ月 ・中継泥土圧送ポンプ ①MCP1414H 最大輸送量 120m3/h 電動機 110 k W (400V) 最大吐出圧 5.0Mpa ②注水ポンプ 最大吐出圧 12L/min 電動機 3.7kW ・泥土フィーダー 一次泥土ストックホッパー ホッパー容量 28m3 理論輸送量 0～120m3/h スクリーン回転数 0～32rpm55Kw ・管動脈緩衝装置（全損） 11径 12B 緩衝圧力範囲 0～4.2Mp	○																																	
土砂貯留設備費	シールド掘削土砂を貯留する設備に要する費用をいう。	参考図記載のとおり ・土砂貯留設備位置図 ・土砂貯留設備構造図（その1～2） 土砂貯留設備－1式（2箇所） 【土砂貯留設備A】 設置期間－約 9.0 ヶ月 ・鋼矢板圧入・引抜 IV型 L＝13.5m－150 枚 IV型 L＝14.0m－40 枚 ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・鋼製山留材設置・撤去 切梁・腹起し－38.3 t ※賃料・修理損耗費・仮設材運搬費（運搬距離－25 km/片道）含む ・掘削・埋戻し 掘削 ー1,128m3（現場→成田川1仮置場） 埋戻し－1,128m3（香港高架下仮置場→現場） ※掘削機械分解・組立費（運搬距離－25 km/片	○																																	